

# 事業箇所総合評価シート

【担当課：砂防課】

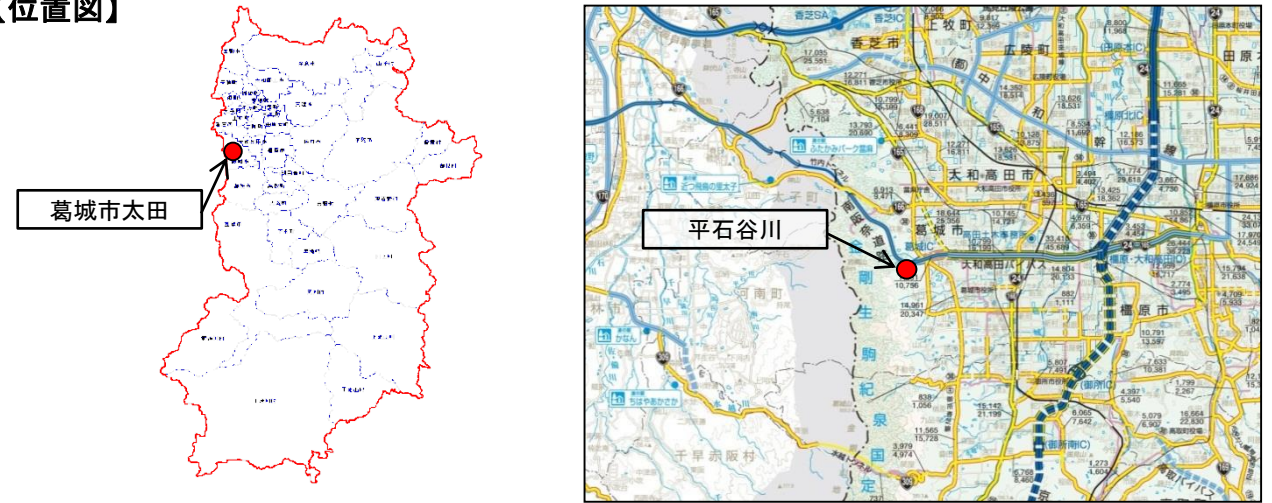
事業名	防災・安全交付金事業(砂防)	路線名等	平石谷川
箇所名	葛城市太田		

事業の概要	目的	流域における荒廃地域の保全および土石流等の土砂災害から下流部に存在する人家、耕地、公共施設等を守る。			
	事業内容	延長	:L=300m		
	工種	:地表水排除工、排土工			
着手年度	平成26年度	完成年度	平成27年度	全体事業費	120百万円

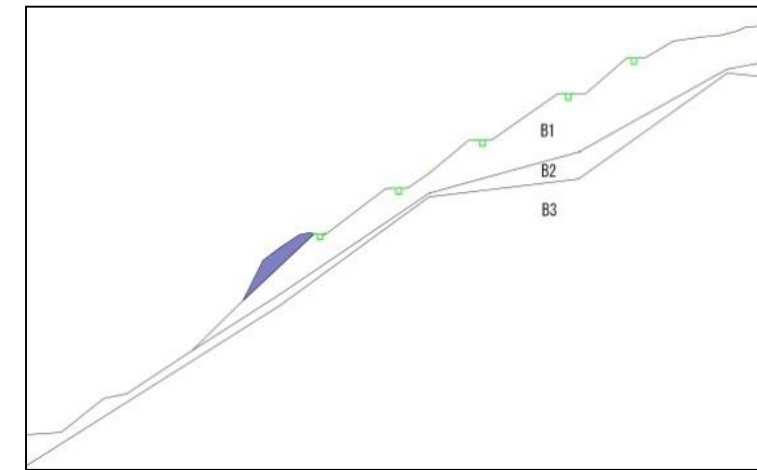
定性的評価	事業の必要性	①当該地区は奈良県中部の葛城市に位置し、砂防法による砂防指定地にあたる。 ②平成22年に区域内で小規模な斜面崩壊が発生し、隣接する民地が被災した。 ③斜面崩壊が拡大すると、斜面下部の葛城市道、ため池、水田(耕地)に被害が及ぶ恐れがあるとともに、下流域には人家が多数存在することから、早急に対策が必要である。
	上位計画等	奈良県土砂災害対策基本方針(平成22年6月)
	事業の有効性 (事業により予想される効果及び影響)	【便益に計上されていない効果】 ①葛城市道の被災に伴う農林作業道路の途絶を防止。 ②ため池への土砂流出に伴う周辺家屋、道路等への浸水被害防止。 ③森林の保全効果。
	コスト縮減への取組み	地表面崩壊箇所の切土量を最小限とし、自然環境保全に努める。
	地元情勢等	平成24年4月、県及び葛城市が参加する「葛城市寺口地区等砂防指定地対策協議会」を設置し、第1回協議会を開催。 (以後、適宜協議会を開催)
他計画他事業との関連	同区域において、葛城市が公園緑地事業を予定。	

評価結果	左の理由
採択	奈良県土砂災害基本計画に基づく事業であり、緊急性も認められるため採択とする。

## 【位置図】



## 【対策工断面図】



この地図は国土地理院の5万分の1を転載(奈良県道路網図平成24近複第72号)

## 【現況写真】



○全景

○斜面状況

○崩壊地頭部

○斜面上部の連続した亀裂